

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	3	-	事業名	広聴事業	担当部課	市長公室 情報課
------	---	---	-----	------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	5	みんなの力を結集する自治と協働のまち				
		分野別項目	4	行政情報を提供し、住民意見を聴く機会を充実する				
		施策の進め方						
	まちづくり 行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～				
		政策分類	1	広聴機能の強化				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民からの意見や提案などを聴くため「市政ご意見箱」及びアイデア提案「一平さんに一言」を設けている。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市に関わる全ての人					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市政に対する意見・提案等を進め、市政にフィードバックすることで、対象者にとってより良いと感じられる行政サービスを実施する。					
	事業を構成する事務事業	① 広聴事務事業	継続	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円		予算	/	/	/
決算				/	/	/	0
人件費(B)	千円		決算	/	/	/	8,849
総コスト(A)+(B)	千円		決算	/	/	/	8,849

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	ご意見・提案 受付件数	件	目標	400	800	600	500
実績				485	463	422	489	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 市政に対して気軽に意見を申出できるかの判断として、ご意見や提案をいただいた件数を指標とする。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町も同様に実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 成果指標の目標に対して、実績は横ばいの状況となっている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 文書で投稿される場合、ご意見箱のほかに様々なアンケート回収箱が同じ場所に設置されているため、市民目線で分かりにくい状態になっている。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 本市の目指すまちづくりにつながるようなご意見及び提案は積極的にホームページに公開し、市民主体のまちづくりにつなげていく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	広聴事業									
-----	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

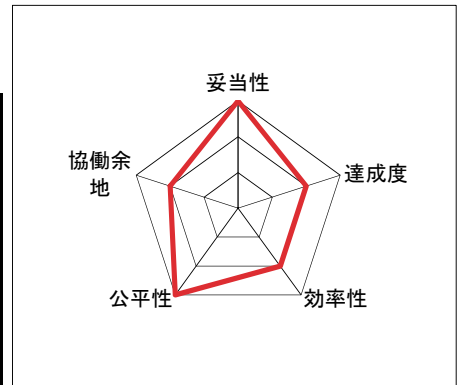
番号	①	事務事業名	広聴事務事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市に関わる全ての人に対して、ご意見「市政ご意見箱」及び提案「一平さんにひと言」を紙媒体と市ホームページにて受け付けている。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 意見及び提案を市長はじめ業務担当部署へに伝えることで、行政サービスに反映する。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				0
		決算				0

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ご意見箱	件	目標	440	800	600	500	
		実績	485	463	422	489	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

ご意見と提案の窓口の違いがわかりにくいこと及び投稿手段において紙媒体よりメールが多いこともあわせ、今後はご意見と提案受付窓口等の集約を検討する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
市民には、ご意見「市政ご意見箱」と提案「一平さんへの一言」の受付窓口の違いがわかりにくい。
また、ご意見及び提案の方法については、電話や文書より、ホームページのご意見箱を利用する件数が増加している。